

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



トヨタ bZ4X 環境仕様

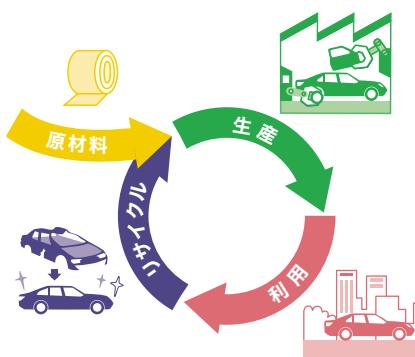
車両型式	ZAA-XEAM11	ZAA-XEAM15
CO ₂ 排出量 <small>WLTC</small> g/km		
排出ガス規制適合	適合排出ガス規制	排出ガス規制の適用を受けない自動車 平成28年騒音規制M1A3A 68/-/-
車外騒音規制区分	dB	HFO-1234yf(1*2)/700
冷媒の種類(GWP値*1)/使用量	g	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*3) 自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*4) 自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止) 自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止) 自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
環境負荷物質削減	鉛 水銀 カドミウム 六価クロム	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等に使用/ 鉛廃止済み部品:電着塗料、燃料ホース、ワックス高仕ホース、ホイルハランサー、電球と点火ブロック、塩ビ・ゴム部品、ハーフシート、軸受けなど 水銀廃止済み部品:コンピューターメモリーモジュール 六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品:金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他 カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品:電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他 バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材
車室内VOC*5	鉛 水銀 六価クロム カドミウム	あり
環境負荷物質使用状況等	リサイクルしやすい材料を使用した部品 樹脂、ゴム部品への材料表示 リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー等

トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまで広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。
(<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>)



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



*1. GWP:Global Warming Potential (地球温暖化係数) *2. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。 *3. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。 *4. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。 *5. VOC:Volatile Organic Compounds